2014 Gyoda City Photo Studio 写真館

パワーアップした ぎょうだ“夢”まつりに誰もが大満足

11月23日、古代蓮の里で「2013ぎょうだ“夢”まつり」が行われました。

食・農業・環境の祭典として開催されたこのイベントに、市内外から3万8,000人が訪れました。昨年に引き続きゼリーフライ総選挙、B級ご当地グルメ大会、農業祭、環境フェスタなどが行われた他、県立松山女子高等学校書道部が華麗なパフォーマンスを披露するなど、より一層充実した内容となりました。今回初開催となったゼリーフライ大食い大会では、出場した選手らに観客から大きな声援が送られ、会場は大盛り上がり。

見応え、食べ応えがあるイベントに、来場者は満足している様子でした。

いにしえの物語を語る

11月23日、産業文化会館で「浅野温子よみ語り 行田公演」が行われました。

この公演は、古くから語り継がれてきた日本独自の物語を現代的に脚色し、女優・浅野温子さんが語るものです。今回は、阿村礼子さんの脚本「神々のものがたり」シリーズから、コノハナサクヤヒメとイワナガヒメの生涯を優しく切なく、時に激しく語りました。

感情豊かに全身全霊で表現する浅野さん。その姿に、会場を訪れた誰もが圧倒されるとともに、改めて日本古来の物語の素晴らしさを堪能していました。

気軽に生の音楽と触れ合える場として

11月26日、行田音楽家協会による市役所ロビーコンサートが行われました。

同協会は、クラシックを中心に「落葉松」など6曲を披露しました。マリンバやピアノの音色にのせて響き渡る歌声に、来庁者はうっとりとした様子。気軽に生の音楽と触れ合える場として、誰もがリラックスして優雅な時間を過ごしていました。

忍城おもてなし甲冑隊が「第１回県おもてなし大賞」特別賞を受賞

11月28日、浦和コルソで「第1回県おもてなし大賞」の表彰式が行われ、このたび特別賞を受賞した忍城おもてなし甲冑隊が出席しました。

「県おもてなし大賞」とは、埼玉県が観光客らに対して心のこもったおもてなしをしている企業や団体、個人を表彰するものです。忍城おもてなし甲冑隊は、忍城址などでの演舞披露や記念撮影を行うなど「独自のおもてなし」で、観光客に行田でのひとときを楽しんでもらえるように取り組んだことが評価されました。これからも甲冑隊は、さらに磨きをかけた「おもてなし」で行田を訪れる観光客の皆さんをお迎えします。

思いが込められたたすきをつなぐ

11月24日、総合公園自由広場および周回コースで「第57回浮き城のまち駅伝大会」が開催され、3,090メートルコースに20チーム、1,150メートルコースに65チームが参加しました。

仲間の思いが込められたたすきを次の選手につなごうと、最後まで諦めずに力走する選手たち。ゴールした後は、全員で健闘をたたえ合い、さらなる絆を深めていました。

大豆を身近に感じて

12月11日、南小学校の5年生を対象に、行田市民大学同窓会1期生教育グループの皆さんによるオリジナル食育紙芝居「大豆の話」の披露が行われました。

この紙芝居は、健康に良いとされる大豆について見直し、日々の食事に取り入れてもらおうと制作されたもの。歴史や栄養素など、大豆に関する知識を盛り込んだストーリーに、子供たちからは「絵も楽しくて分かりやすかった」「豆腐が食べたくなった」と大好評。また、行田在来青大豆を実際に手にして眺めるなど、子供たちにとって大豆を身近に感じることができた貴重な体験となりました。

平和の尊さを再認識

11月30日、中央公民館第1学習室で、広島県から北川建次さんを招き、被爆体験者講演会が行われました。

10歳のときに広島で被爆した体験を、日本各地で語り伝えている北川さん。参加者は、当時の様子を描いた絵や写真をもとに語られたその悲惨さを、沈痛な面持ちで聞き入っていました。

講演会終了後、図書館脇の植え込みに被爆アオギリの苗木を植樹。被爆しても翌年に新芽を付け、広島の人々に生きる希望を与えたアオギリの子孫を植えたことで、平和への意識をさらに高めることができました。

いきいき行田人

第22回国連子供環境ポスター原画コンテストのアジア太平洋地域部門で2位を受賞

吉田光甫（あきほ）さん（15歳・門井町）

「生命の源『水』～それはどこからくるの?」をテーマにした第22回国連子供環境ポスター原画コンテスト。今月は、110カ国の子供たちが応募した全69万7千876作品の中から、アジア太平洋地域部門で2位に輝いた吉田光甫さんを紹介します。

気付けばペンを握っているほど、絵を描くことが生活の一部になっている吉田さん。中学校では美術部員として部活動に励む傍ら、生徒会の文化局長を務め、月1回発行する生徒会新聞の4こま漫画の制作を担当していました。

同コンテストの存在を知ったのは、中学1年生のときでした。第21回の募集チラシに掲載されていた過去の受賞作品を見て「同年代なのに、こんなにきれいな色使いができるなんて」と衝撃を受けたそうです。「私も挑戦してみたい」という思いから応募を決意。そして、海の水質汚染を題材に作品を描き、国内部門中学校の部で佳作を受賞したのです。

このことがきっかけで環境問題への関心も高まり、皿洗いをするときに油を流さないよう注意するなど、特に「水」について注目するようになったそうです。第22回の募集テーマが発表された平成24年9月、日ごろから抱いていた水への思いを表現しようと、部活動の時間を利用して何案も構図を描き始めました。

先生や友人からアドバイスを受け、半年の月日を費やして大作が完成。配色に特にこだわり、納得がいくまで何度も塗り直したそうです。「自然も生き物も、水を通じて共存している。私たちも、尊い命の源である『水』をきれいに使わなければならない—」水の星「地球」に浮かぶ砂（水）時計を中心に、自然や生き物に恵みを与えながら循環する水の様子が美しい色合いで描かれた作品には、吉田さんの強い思いが込められています。

「世界中の人に作品を見てもらえるよう、もっと大きな目標を目指していきたい」と次のコンテストへの意気込みを語る吉田さん。「育った環境や言語は違っても、その人の考えを感じ取れるのが絵のすごいところ。いつか、国境を越えて自分の気持ちを伝えられるイラストレーターになりたいな」若きアーティストは、輝かしい未来へ向かってこれからも歩み続けます。

第22回国連子供環境ポスター原画コンテストのアジア太平洋地域部門で2位を受賞した作品（所蔵：総合地球環境学研究所（京都府））

私の作品

○皆さんの作品を募集しています。
○俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。

俳句

定年の顔が集まる植木市　長野　野中せき子

北国の雪のかおりの便りあり　中里　鯨　美智子

ゼラニウム色あざやかに乱舞して　藤原町　上原ミサ子

一歩づつ落葉踏みしむ登山道　忍　飯島　素子

時雨るるや聖天の彫鮮やかに　谷郷　冨山　由喜

高々と柚の実たわわ庭ともす　桜町　新井　道江

雨しとど耐える野菊のいとおしく　持田　田子　敏枝

作り手の自信あふれる菊花展　荒木　国島　初江

一人居の心揺さぶる帰り花　城西　鈴木　正夫

腰痛を宥めなだめつ障子張り　天満　青柳　欣吾

一輪の桔梗に茶室凛とする　旭町　大川　和子

琴の音のもれ来し庭に冬牡丹　城南　関口　操

通学の子等にまつわる枯落葉　富士見町　森　節子

枯一葉ひらりひらりとつくばいに　長野　吉野　らん

枯すすき風の誘いにそっ気なく　城南　千代田富子

縁側に猫と仲よく日向ぼこ　城西　西田吉之助

宿下駄に足をとられる霜夜かな　城南　町田　達男

古希迎え喪葉書多き年の暮　持田　田中　和夫

文化祭男カレーに列をなす　荒木　蛭間しげ子

古墳から古墳に登る小春かな　谷郷　斉藤　勲

（三沢　一水　監修）

はじめまして

平成25年1月生まれのおともだち

小倉　来望（このみ）ちゃん（持田）
平成25年1月30日生まれ
父 優樹さん 母 早紀さん
「我が家の王子さま♡」

本間　勇太（ゆうた）ちゃん（長野）
平成25年1月15日生まれ
父 哲也さん 母 千秋さん
「元気いっぱい、わんぱくボーイ♪」

岩城　空叶（くうと）ちゃん（富士見町）
平成25年1月21日生まれ
父 圭佑さん 母 美貴さん
「いたずら大好き♡くうたんスマイル✩」

山口　凜（りん）ちゃん（埼玉）
平成25年1月26日生まれ
父 高広さん 母 綾子さん
「おねえちゃんとなかよくね♪」

田島　東空（とあ）ちゃん（野）
平成25年1月30日生まれ
父 桂介さん 母 由佳利さん
「癒しをどうぞ♡」

大木　遥也（はるや）ちゃん（佐間）
平成25年1月14日生まれ
父 雅春さん 母 絵里さん
「君は我が家のビタミン剤♡」

平成25年３月生まれのお子さんを募集します

○1月6日(月)～31日(金)に電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当（内線318）
※応募要領は市ホームページをご覧ください。
○応募者多数の場合は、2月4日(火)午前11時から市役所201A会議室で公開抽選を行います。

ぎょうだの会社をクローズアップ!!

島崎木材株式会社

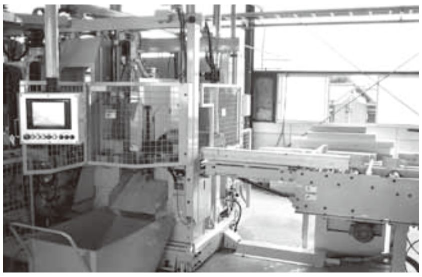
木の文化を後世に伝える

　断熱・調湿などに優れ、健康で快適な居住環境を提供するといわれている木造建築。その主要構造部分に必要不可欠とされる木材・建材の販売や加工・工事を行っているのが、昭和25年創業の島崎木材株式会社です。

　同社で扱う木材は、国産材や輸入材など多岐にわたります。年間約1万立方メートルもの木材を仕入れ、さまざまな需要家に納入しています。JAS構造用製材選別格付技士である社長の島崎政敏さんは「お客さまのニーズを的確に捉え、現場に最適な木材をタイムリーに届けるのが、私たちの役割です」と語ります。

　同社の特徴の一つは、市内で唯一自社プレカット工場を保有していること。寄居町と下忍地区内にプレカット工場を開設し、大規模な物件の加工にも対応しています。「プレカット」とは、住宅の骨組みとなる部材を、コンピュータ制御のプレカットマシンによってあらかじめ切断や加工を行うことです。この技術を取り入れたことで、効率よく精度の高い木材加工が可能になり、工期短縮も図れるようになったそうです。平成23年には、最新の特殊加工機を導入し、今まで職人が手作業でしか行えなかった「台持ち継ぎ」や「追掛け大栓継ぎ」といった伝統的な継手加工もできるようになりました。取引先からは「従来のプレカットで不安のあった大梁同士の接合強度を高めることができる」と高い評価を受けています。また、同年には神社仏閣用の木材を扱う堂宮材センターも開設し、ヒノキやケヤキ、米ヒバの大木などを各地の社寺の普請に納材しています。

　創業以来60年余年、木への変わらぬ思いを抱きつつ取り組みを続ける同社。今後は、寄居町の拠点を生かした埼玉の木の拡販も視野に入れているようです。これからも木の文化を後世に伝えるべく、価値ある木材を世の中に送り出していくことでしょう。



会社プロフィール

代表取締役　島崎政敏

事業内容　木材・新建材・住宅機器・鋼材の販売、在来軸組みプレカット加工、サイディング、ALCの販売と工事、木工事、製材

※このコーナーで紹介する会社を募集しています。特色ある業務を行っている会社の情報を広報広聴課広報広聴担当（内線318）までお寄せください。

講座・講演会・教室

親子で作って楽しく学ぼう！食育ってなあに？

▼**日時**　1月19日(日)午前10時～午後1時　▼**場所**　V－VAぎょうだ調理室　▼**内容**　お父さん、お母さんと一緒にデコレーション寿司を作る　▼**講師**　行田市食生活改善推進員　▼**対象**　市内の小学生とその保護者　▼**定員**　30人（先着順）　▼**参加費**　1人300円　▼**持ち物**　エプロン、スリッパまたは上履き、三角巾またはバンダナ　▼**申**　1月7日(火)～17日(金)に直接または電話でV－VAぎょうだ（1月14日(火)は休館）※ひととき保育（2歳以上の未就学児の保育・無料）の申し込みは1月15日(水)まで　▼**問**　V－VAぎょうだ☎556－9301

上級救命講習会

▼**日時**　【第15回】2月8日(土)【第16回】2月9日(日)いずれも午前8時45分～午後5時30分　▼**場所**　消防本部第3会議室　▼**内容**　成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法、異物除去法、AEDの取り扱い方法、傷病者管理法、外傷の手当て要領などを取り入れた上級救命講習会（8時間）　▼**定員**　両日とも20人（先着順）　▼**参加無料**　▼**その他**　昼食は各自で用意　▼**申・問**　1月20日(月)から電話で行田市消防署☎550－2123

救急救命講座

▼**日時**　2月7日(金)午前10時　▼**場所**　南河原支所2階　▼**内容**　救急救命措置とAEDの使い方を学ぶ　▼**講師**　消防署員　▼**定員**　20人　▼**参加無料**　▼**持ち物**　バスタオル　▼**申・問**　南河原隣保館☎557－3334

第4回プロから教わるまちのゼミナール「まちゼミ」

▼**期間**　2月1日(土)～28日(金)　▼**場所**　市内の各店舗内　▼**内容**　お店の方が先生となり、それぞれの専門知識を生かした少人数のゼミナールを開催　▼**その他**　詳細は行田商工会議所ホームページ（http://www.gyoda-cci.or.jp/）や新聞折り込みを参照　▼**問**　同会議所☎556－4111

行田環境市民フォーラム第16回公開学習会

▼**日時**　1月26日(日)午後1時30分～3時　▼**場所**　中央公民館第2学習室（「みらい」内）　▼**内容**　國井範彰さん（行田環境市民フォーラム）による講演「太陽光発電の設置者が語る良い点・悪い点」　▼**対象**　市内在住・在勤・在学の方　▼**定員**　50人（先着順）　▼**参加無料**　▼**主催**　同フォーラム　▼**申・問**　中村☎090－1778－4062

「今なぜ藩校サミットか？」―江戸時代の藩校教育を今に生かす―

▼**日時**　2月7日(金)午後4時～5時30分　▼**場所**　ベルヴィアイトピア　▼**内容**　松平忠昌さん（忍藩主第16代当主）による講演「『今なぜ藩校サミットか？』―江戸時代の藩校教育を今に生かす―」　▼**入場無料**　▼**主催**　武蔵野会（武蔵野銀行行田支店内）　▼**申・問**　同会　上澤☎556－3195

ミシンに触れて手作りの楽しさを！ミシン教室（初級コース）

▼**日時**　①2月5日・12日・19日　②3月5日・12日・19日※いずれも水曜日午前10時～正午　▼**場所**　ミシン会館（株式会社日建内・藤原町1－31－20）　▼**内容**　トートバックなど4種類の作品を作る　▼**対象**　市内在住の方　▼**定員**　5人（先着順）　▼**参加費**　3千円（教材代を含む）　▼**申・問**　行田商工会議所☎556－4111

吹奏楽　公開講習会

▼**日時**　1月25日(土)午後6時～9時　▼**場所**　「コミュニティセンター南河原」集会室（南河原支所内）　▼**内容**　吹奏楽の専門講師による基礎と簡単な曲の合奏指導　▼**参加無料**　▼**持ち物**　お持ちの楽器　▼**主催**　行田吹奏楽団　▼**その他**　詳細は同楽団ホームページ（http://nabec.bf1.jp/gwo/index.html）を参照　▼**問**　長島☎554－9800

広告

広告掲載の問い合わせは、有限会社今津印刷所へ☎554―2245

埼玉県地震対策セミナー

▼日時　2月14日(金)午後1時30分～3時40分（午後0時30分から受け付け）▼場所　さいたま市文化センター大ホール（さいたま市南区根岸1―7―1）▼内容　防災に関する講演の他、ブースの出展、地震関連資料の展示、埼玉県建築安全課職員による耐震診断などを行い、地震被害を軽減するための対処方法を啓発する　▼定員　1千600人（先着順）▼入場無料　▼その他　先着1千人に防災グッズをプレゼント　▼問　埼玉県地震対策セミナー実行委員会事務局（県危機管理課内）☎048―830―8141

イベント

第16回記念公募 行田市美術展

▼日時　2月6日(木)～9日(日)午前9時30分～午後4時30分（9日は午後4時まで）▼場所　「行田グリーンアリーナ」サブアリーナ　▼内容　絵画（彫刻を含む）、工芸、書、写真の展示　▼主催　行田市美術家協会、行田市教育委員会、（公財）行田市産業・文化・スポーツいきいき財団　▼問　行田市美術展実行委員会事務局（産業文化会館内）☎556―6371

埼玉県市町村職員採用情報フォーラム2014

埼玉県内市町村職員の仕事の内容や魅力をPRするフォーラムを開催します。公務員を目指している方、市町村職員に関心のある方など多くの方の参加をお待ちしています。

▼日時　2月7日(金)午後1時～4時　▼場所　さいたま市民会館おおみや大ホール（さいたま市大宮区下町3―47―8）▼内容　講演、市町村職員（事務職および建築職）による経験談やメッセージなど　▼定員　1千300人　▼参加無料　▼その他　事前申し込み不要。詳細はホームページ「SAITAMA WORKS Navi」（http://www.hitozukuri.or.jp/navi/event/s-forum.php）を参照　▼問　彩の国さいたま人づくり広域連合市町村職員担当☎048―664―6681

平成27年3月大学等卒業予定者企業説明会

▼日時　2月4日(火)午後1時30分～4時（午後0時30分から受け付け）▼場所　大宮ソニックシティ地下展示場（さいたま市大宮区桜木町1―7―5）▼対象　平成27年3月に大学（院）、短期大学、高等専門学校、専門学校などを卒業予定の方　▼その他　参加企業など詳細は埼玉労働局ホームページ（http://saitama-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/）を参照　▼問　埼玉新卒応援ハローワーク☎048―650―2234またはハローワーク行田☎556―3151

第29回行田市合唱祭

▼日時　1月26日(日)午後0時20分開演　▼場所　産業文化会館ホール　▼内容　18団体の演奏と「風にのせて」の全体合唱　▼入場無料　▼主催　行田市合唱連盟　▼後援　行田市、行田市教育委員会、行田市文化団体連合会　▼問　長谷見☎557―2647または中野☎556―5409

浮城シニアクラブ連合会 “第2回いきいき芸能発表大会”

▼日時　1月29日(水)午後0時30分～4時（正午から受け付け）▼場所　「みらい」文化ホール　▼内容　浮城シニアクラブ連合会会員が踊り、ダンス、カラオケ、民謡などさまざまな芸能を披露する　▼主催　同連合会　▼その他　観覧自由　▼問　同連合会事務局（高齢者福祉課内・内線223）

節分祭　豆まき

▼日時　2月3日(月)【1回目】午後3時【2回目】午後5時（雨天決行）▼場所　行田八幡神社　▼その他　各種売店が出店。壇上から福豆をまく年男・年女などを募集　▼問　同神社社務所☎554―5926

広告

第20回こどもフェスティバル

▼日時　2月9日(日)午前10時開演　▼場所　忍・行田公民館　▼内容　マジック、お話会、人形劇　▼対象　幼児以上の方　▼参加無料　▼主催　こどもフェスティバル実行委員会　▼後援　行田市教育委員会　▼問　行田おやこ劇場事務局☎090―3816―5374

佐間写真クラブ新春作品展

▼日時　1月23日(木)～26日(日)午前9時～午後4時（23日は午前10時から）　▼場所　佐間公民館ホール　▼問　佐間写真クラブ代表高澤☎555―1335

行田水墨画クラブ展覧会

▼日時　1月11日(土)～13日(月)午前10時～午後5時（11日は午後1時から、13日は午後3時まで）　▼場所　コミュニティセンターみずしろ1階ギャラリー　▼内容　行田水墨画クラブのメンバーが描いた作品を展示する　▼入場無料　▼問　同クラブ代表田村☎080―6772―7891

中央小学校吹奏楽部演奏会

▼日時　2月8日(土)午後1時開演　▼場所　産業文化会館ホール　▼曲目　「ディズニー・ソング」「ウィンド・オン・ザ・ヒル」他　▼入場無料　▼主催　中央小学校　▼後援　行田市教育委員会、吹奏楽部保護者会　▼その他　忍中学校の生徒や中央小学校吹奏楽部OBも出演　▼問　同校☎554―5551

すごろく　かるた展

▼日時　1月7日(火)～2月28日(金)午前9時～午後4時（土・日曜日、祝日を除く）　▼場所　熊谷商工信用組合行田支店ロビー（天満3―16）　▼内容　正月の遊び、すごろく、かるた、羽子板などの展示　▼問　栗原☎090―1535―4460

募　集

自衛官

幹部候補生

▼受付期間　2月1日(土)～4月25日(金)　▼対象　日本国籍を有し、22歳以上26歳未満の方（22歳未満の方は、大学卒業見込みを含む）または大学院で学位を受けた方（取得見込みを含む）で、28歳未満の方　▼試験日　5月10日(土)・11日(日)（11日は筆記式操縦適性検査（パイロット希望者）のみ）

予備自衛官補

▼受付期間　1月8日(水)～4月2日(水)　▼対象　【一般】18歳以上34歳未満の方【技能】18歳以上の方（保有する技能によって53歳から55歳未満の方まで可）　▼試験日　4月11日(金)～15日(火)の1日

平成26年度自衛隊幹部候補生セミナー

▼日時　①1月20日(月)　②1月24日(金)いずれも午後3時～8時　▼場所　①越谷サンシティホール（越谷市南越谷1―2876―1）②狭山市市民交流センター（狭山市入間川1―3―1）

幹部候補生、予備自衛官補、自衛隊幹部候補生セミナーいずれも

▼資料請求・問　自衛隊埼玉地方協力本部熊谷地域事務所（〒360―0037　熊谷市筑波3―90―1　国際ビル2階）☎522―4855

第1回行田あきんど市出店者

3月9日(日)午前10時～午後4時、八幡町通りで「第1回行田あきんど市」を開催します。そこで、このイベントに出店していただける飲食・物販店を募集します。

▼募集件数　【飲食店】15件【物販店】30件※定員を超えた場合は抽選　▼申　1月31日(金)までに住所、氏名、電話番号、出店品の内容を記入の上、EメールでNPO法人行田観光物産会まで申し込みください。【Eメール】npo-gkb@outlook.jp　▼問　同物産会☎553―3912

広告

行田ふれあいドッヂビー大会参加チーム

▼**日時**　2月15日(土)午前9時～午後1時（午前8時30分から受け付け）▼**場所**　行田グリーンアリーナ　▼**参加資格**　小学生以上の健康な方（未成年者は保護者の参加承認を得た方）▼**チーム編成**　競技人数は1チーム13人とし、選手登録は18人まで可（年齢・性別は不問）。監督は成人に限る（選手としての登録も可）▼**定員**　24チーム（先着順）▼**参加費**　1人200円（保険料、参加賞を含む）▼**持ち物**　室内用運動靴　▼**主催**　行田市スポーツ推進委員協議会　▼**共催**　行田市教育委員会　▼**その他**　大会に参加した際の写真などは同協議会の活動で使用する場合があります。　▼**申**　1月28日(火)までに直接スポーツ振興課または行田グリーンアリーナ　▼**問**　同課☎556－8336

第7回行田市ソフトバレーボール交流大会参加チーム

▼**日時**　3月9日(日)午前8時30分　▼**場所**　行田グリーンアリーナ　▼**参加資格**　18歳以上の方（学生を除く）▼**チーム編成**　1チーム5人～8人（混合一般、混合シニア、女子一般、女子シニア）※シニアはプレーヤーの合計年齢が170歳以上　▼**参加費**　1人200円（保険代など）▼**主催**　行田市ソフトバレーボール連盟　▼**申・問**　2月16日(日)までに同連盟会長成田☎557－1844または☎090－2763－1662

相談

第14回「わが家の耐震診断相談会」～あなたの家は大丈夫ですか～

（一社）埼玉県建築士事務所協会北埼支部所属の建築士が、現在住んでいる住宅（主に木造2階建ての建物）について、簡易な耐震診断を無料で行います。また、住宅の建築や防火に関する相談会も実施します。

▼**日時**　1月26日(日)午前9時～正午　▼**場所**　加須市役所1階ギャラリー（加須市下三俣290）▼**持ち物**　間取りの分かる図面（お持ちの方）▼**主催**　同協会　▼**後援**　行田市、埼玉県他　▼**問**　同協会☎554－3281

子育て談話室「たんぽぽ」

▼**日時**　2月3日(月)午前10時～11時30分　▼**場所**　総合福祉会館「やすらぎの里」▼**内容**　子育て中の親同士で語らう（託児付き）▼**対象**　市内在住で乳幼児を持つ保護者　▼**定員**　30人　▼**参加費**　100円　▼**主催**　行田市民生委員・児童委員連合会　▼**後援**　行田市、行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会　▼**申・問**　同協議会☎557－5400

借金の返済で悩んでいる方へ

関東財務局では、多重債務で悩んでいる方を対象とした「無料相談窓口」を開設しており、相談には専門の相談員が応じています。秘密は厳守しますので、一人で悩まず、まずは電話でご相談ください。

▼**相談時間**　月～金曜日の午前9時～正午、午後1時～5時（祝日を除く）▼**電話相談番号・問**　関東財務局多重債務相談窓口☎048－600－1113

(公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

マスターと作るお洒落なハンギング

▼**日時**　2月2日(日)午後1時～3時　▼**場所**　古代蓮会館研修工作室　▼**内容**　鉢植えを置くスペースがない場所でも、壁を利用し空間装飾として楽しめる、寄せ植えとはひと味違ったハンギングバスケットの基本を学ぶ　▼**講師**　染谷孝子さん（日本ハンギングバスケット協会認定ハンギングマスター）他　▼**対象**　小学5年生以上の方　▼**定員**　30人（先着順）▼**参加費**　3千500円（保険料・材料代）▼**申**　1月18日(土)午後2時～26日(日)午後4時に同館窓口にて受け付け

申し込み・問い合わせ

- 産業文化会館　TEL 556-6371　FAX 556-6372
- 古代蓮会館　TEL 559-0770　FAX 559-0784
- 商工センター　TEL 553-0510　FAX 553-2021
- グリーンアリーナ　TEL 553-3377　FAX 553-0487

http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html

広告

住民基本台帳人口　行田市の人口と世帯　人口85,284人　男42,406人　女42,878人　世帯数33,777世帯
（平成25年12月1日現在）　11月中の異動　出生42人　転入等190人　死亡64人　転出等200人

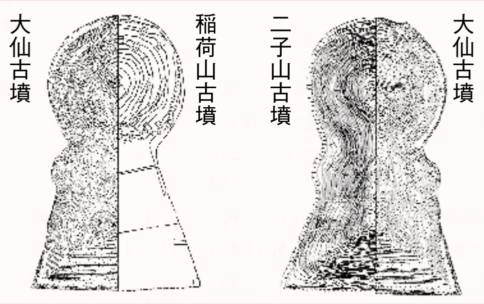
行田 歴史系譜 238

いにしえの行田を探る 10

埼玉古墳群の規格、築造順序について

東日本随一の規模を誇る埼玉古墳群は、9基の大型古墳が密集して築かれていることが特徴で、そのうちの8基が前方後円墳と呼ばれる平面形が鍵穴に似た形の古墳です。

この8基のうち、将軍山古墳以外の7基は、大きさは違うものの形が似通っており、同じ規格に基づいて築かれたと推測されています。



大仙古墳と稲荷山古墳、二子山古墳との墳形比較

左の図は、この7基の中で最初に築かれた稲荷山古墳と、一番大きな二子山古墳の形を、それぞれ大阪府にある大仙古墳（仁徳天皇陵）と比較したものです。実際の大きさ（全長）は稲荷山古墳が大仙古墳の約4分の1、二子山古墳が稲荷山古墳の約8分の9と大きく違いますが、形はよく似ています。埼玉古墳群の前方後円墳の大半は、大仙古墳と同じ規格に基づいて大きさを変えて造られたようです。このように古墳の規格の点でも埼玉古墳群と近畿地方との関連がうかがえます。しかしながら近年の発掘調査で、現在の古墳の形は築かれた当初と比較して風雨などで崩れて変化していることが分かっており、将来こうした見解が変わる可能性も出てきています。

9基の大型古墳の築かれた順序についても揺れ動いています。稲荷山古墳が最初に築かれた古墳であることはほぼ定説になっていますが、その次に築かれた古墳が丸墓山古墳であるのか、二子山古墳であるのかはっきりしていません。今年から行われている二子山古墳の発掘調査の成果が注目されます。

その後の古墳の築かれた順序については、近年古墳出土の埴輪とその多くを焼いた鴻巣市の生出塚埴輪窯の詳細な分析・対比から、瓦塚古墳、奥の山古墳、愛宕山古墳、将軍山古墳、鉄砲山古墳、中の山古墳の順とする説が定着しつつありますが、将軍山古墳と鉄砲山古墳の前後関係など、未確定な部分が残されています。

堀の形についても、近年の発掘調査で奥の山古墳が二重堀、鉄砲山古墳が三重堀であることが新たに確認されています。

このように埼玉古墳群については、日々調査・研究が進められ、新たな発見と新たな課題が生まれているのです。

（文化財保護課　中島洋一）

こぜにちゃんが行く！ with フラベぇ

このコーナーでは、行田の歴史や名所、名物などを行田ゼリーフライキャラクターのこぜにちゃんが分かりやすく紹介します。

利根大堰

独立行政法人水資源機構が管理する利根大堰は、長さ約500メートル、12の水門などからなる堰で、昭和43年に完成したんだ。

この堰は、東京都をはじめ首都圏の水不足を解消するために建設したもので、武蔵水路や見沼代用水路などを通して、利根川の水を送っているよ。ちなみに、利根大堰から水路に送る水の量は1秒間で最大137トン、小学校の25メートルプールが2秒ほどで一杯になるというから、ものすごい量だね。

また、河川敷には「大堰自然の観察室」があって、魚道をのぼるアユやサケの様子を目の前で見ることができるよ。河川敷から眺める利根大堰はとても雄大だから、みんなで見に来てくださいね。

今月の表紙　12月12日、西小学校1年生の児童が昔の遊びを体験しました。この日、児童らが体験した遊びは「こま回し」や「羽根突き」、「お手玉」など7種類。講師は、NPO法人ふるさと創生クラブの皆さんが務めました。普段の生活では体験できない遊びとあって、興味津々な様子の児童たち。講師の手ほどきを受けながら、元気いっぱいに昔の遊びを堪能していました。

■市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報担当（内線 318）まで。
■市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
■市報を CD−R に録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線 318）までご連絡ください。

VEGETABLE OIL INK 環境にやさしい植物油インキ
市報ぎょうだは再生紙を使用しています

■編集・発行／行田市総合政策部広報広聴課
〒361−8601 行田市本丸2番5号
TEL 556−1111 FAX 550−2116